



KKR東海病院

とうかい

KKRとは?

国家公務員共済組合連合会の
頭文字をとった略称です。

第75号 2022.1

編集責任者 丸田真也(副院長)

東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS
誠意…Sincerity
奉仕…Service
考動…Science

東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切に、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。



2022年 年頭挨拶



東海病院長 山本 英夫

あけまして、おめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。そして旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

昨年は新型コロナウイルス感染症第5波収束の後2ヶ月以上にわたり全国の新規感染者数の減少が持続していましたが、残念ながら12月上旬には増加に転じ、さらに年末年始にかけて新変異株オミクロン株の国内での感染が拡大してきております。

昨年11月に発表された第23回医療経済実態調査は新型コロナ感染症禍の医療機関の経営状態を示すもので、一般病院全体の20年度医業・介護損益率は6.9%の赤字だったのが、新型コロナウイルス感染症関連の補助金を含めると0.4%の黒字計上となったということです。補助金計上前の医業・介護収支の赤字幅は、19年度と比べて3.8ポイントも拡大しており、しかも21年度も未だ各医療機関の経営状態がコロナ前に戻っているとは言えない現状を直視せず、2022年度診療報酬改定では、最近の改定パターンである、本体部分はプラス0.43%とし、薬価を引き下げて全体がマイナス0.94%となりました。本体部分のプラス分の大部分は、「看護職の賃金を3%上げる」と「不妊治療の保険適用」に当てられ、他は「医療従事者が高い専門性を発揮できる勤務環境の改善に向けての」タスクシフティング・タスクシェアリングなどへの評価に当てられることになると思われます。今年はウイズコロナの中、さらに医師の働き方改革への準備も進めていかなければなりません。

当院は昨年1月に敷地内院外薬局を開設し、初めての院外処方導入、第4波では多数の新型コロナ回復患者の受け入れ、職員・一般の人々への新型コロナウィルスワクチン接種対応に続き、院内PCR検査と抗原定量検査の体制整備、入院前・手術前にPCR検査あるいは抗原定量検査を実施し、院内感染対策を講じてまいりました。そして新型コロナウィルスワクチンの3回目接種を今月から開始しております。オミクロン株による第6波が入院・重症化率に関し第5波を凌ぐのかは不明ですが、第6波においても近隣の医療機関と協力しつつ当院でできることを果たしていかなければならないと思います。

今年は、いよいよ団塊の世代の方々が後期高齢者の仲間入りをし始める年でもあります。しっかりと感染症対策を取りつつ本年も地域住民並びに高齢者の方々が健康で人間らしく長生きできるように、急性期医療と回復期の「支える医療」並びに「介護」業務を行って、地域の保健・医療・福祉に貢献していきたいと思っております。本年も、何卒ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご多幸とご発展を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦

2022年 年頭挨拶

東海病院長 山本 英夫

コロナ禍における健診・検診について

健康管理センター長
櫛山 泰規

COVID-19拡大防止のための検査体制

検査科技師長代行
森下 晴弘

アンケート結果より抜粋 地域連携室課長

高砂 直樹

診療と交通のご案内

国家公務員共済組合連合会

東海病院

〒464-8512

名古屋市千種区千代田橋一丁目1番1号

☎ 052-711-6131 (代表)

☎ 052-712-0052

🌐 <https://www.toukaihosp.jp/>

東海病院 検索



コロナ禍における健診・検診について

健康管理センター長 櫛山 泰規



2020年1月に日本でも新型コロナウイルス感染症患者が発生して以来、健診領域で問題になっているのが「コロナ禍における健診・検診控え」です。

先日、国立がん研究センターより、2020年に全国のがん診療連携拠点病院などでがんの診断を受けた人の数が、前年に比べて約6万件減少したことが報告されました。2020年にがんで死亡された方が約37万8000人と年々増加の一途をたどっていることを鑑みると、がんの診断件数が6万件も減っていることは、新型コロナウイルス蔓延による健診・検診控え、医療機関の受診控えが大きな要因であることに異論はないかと思われます。

当健康管理センターでは、「新型コロナウイルス蔓延下においても人間ドックなどの定期的な健診・検診を継続することは、自覚症状のない早期の癌や生活習慣病を発見することを通して多くの方の健康に寄与できる、有益性が危険性を上回る」という信念のもと、2020年1月から2021年12月現在に至るまで緊急事態宣言下のごくわずかな期間に中断した以外、徹底した感染対策を行いながら通常通りの健診・検診を行ってきました。各部署、各職員の不断の努力によりクラスターの発生など大きなトラブルはなく、健康管理センターとしての責務を果たせてきたと自負しています。

新型コロナウイルス感染症が気になって
受診を控えている皆さまへ



**定期的に
健診・検診を
受けましょう**

健康診断の会場では換気や消毒を行うなど、
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策[※]に努めています。
※「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」
(公益社団法人全国労働衛生団体連合会等)

自覚症状が現れにくい、そんな病気は少なくありません。
だからこそ、定期的な健診と検診で健康状態をしっかりチェック。
自分の体をしっかり知るのが、健康維持の第一歩です。

- ・受診の前には、体温を測定するなど、体調に問題がないことを確認して下さい。
- ・マスクの着用、受診前後の手洗いなどの感染対策をしっかりしましょう。



当院の人間ドックでは、上下部内視鏡検査、胸部腹部CT、腹部超音波、脳MRI、乳がん検診(マンモグラフィ、乳腺エコー)、婦人科検診(子宮頸部細胞診、経膈エコー)などの従来の検査に加えて、2022年度中に、子宮頸がんの原因になるHPV(ヒトパピローマウイルス)オプションや医師による人間ドック当日の結果説明を開始する予定になっています。がんは早期に発見できれば、より身体への負担の少ない治療で根治させることができる時代であり、万全の感染対策を行いながら健診・検診を継続して地域医療に貢献していきたいと思っております。

COVID-19拡大防止のための検査体制

検査科技師長代行 森下 晴弘

2021年は、COVID-19の影響により世界的にも大きく変化があった年となり、当院の検査体制にも大きく変化のある年となりました。その中の一つとして遺伝子検査(PCR法)と抗原検査があります。当院の検査室ではCOVID-19の病原体検査として遺伝子検査を実施するための解析装置と抗原定量検査を実施するための分析装置を導入し、24時間体制で対応しています。

〈遺伝子検査〉

2021年3月より全自動PCR検査システム:ジーンリードエイトを導入しました。この装置は感度が高く、Ct値を求めることができます。しかし、結果までに約2時間かかること、一度に最大8検体までしか測定できないなどの制約もあります。



〈抗原検査〉

抗原検査としては定性検査と定量検査があります。それまで屋外特設テントで実施していた抗原定性検査イムノエース(タウンズ)イムノクロマト法が安全キャビネットの搬入により2021年2月からは検査室内で実施することになりました。抗原定量検査としては10月よりルミパルス(富士レビオ)化学発光酵素免疫測定法CLEA法で定量的に抗原検出を行っています。目視判定によるイムノクロマト法に比し感度も高く偽陰性も少ないとされています。発熱外来患者、緊急手術の感染症チェック、緊急入院患者の感染対応の解除等に実施して現在は当院におけるCOVID-19検査の主流となっています。

〈おわりに〉

COVID-19の流行から1年半が過ぎワクチン接種も進んできましたが、感染力の強い変異株の出現と世界的流行はまだ終息には至りません。新型コロナウイルス感染症は指定感染症であり、診断後直ちに行政への報告が求められる他、速やかに患者の隔離や感染経路の追跡、接触者の割り出しなどが必要になります。当検査科はこの感染症と闘うチームの一員として、自分たちが報告した検査結果によって病院全体や社会に及ぼす影響まで配慮して結果を報告することを心掛けています。



医療機関へのアンケート結果より抜粋



地域連携室課長 高砂 直樹

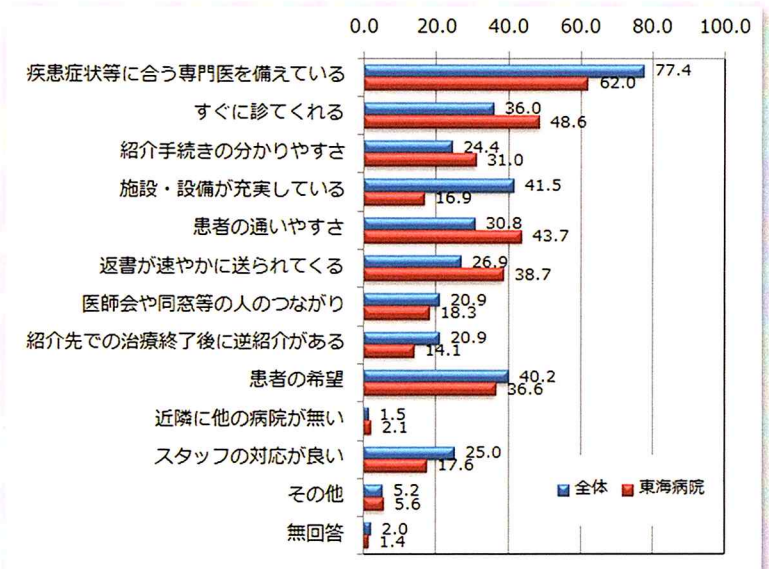
昨年11月に病診連携登録医療機関に対し、郵送で実施しましたアンケートの結果の一部を示します。

249施設に送付し142施設よりご回答をいただきました、ご協力ありがとうございました。

設問

当院への紹介理由を教えてください。(複数回答可)

「全体」とは国家公務員共済組合連合会の全国31病院全ての集計結果です。



診療と交通のご案内

診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、血管外科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科

受付時間

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	○	○	○	○	○	☆	/

休日：日曜日・祝祭日・第2, 4土曜日・年末年始

☆第1, 3, 5土曜日の午前中は診療を受付けております。

※整形外科は8:30~11:00までの受付です。

※眼科は月~金曜日の受付です。

※皮膚科は木曜日の午後(13:00~14:00)のみの受付です。

※脳神経外科は、火曜日・木曜日でのみの受付です。

※血管外科は、金曜日のみの受付です。(金曜日8:30~11:00 下肢静脈瘤)

※ご予約をとられている方の変更・キャンセルは各科外来窓口までお願いします。(月曜日~金曜日14:00~16:00)

アクセス

■地下鉄でお越しの場合

■名城線「茶屋ヶ坂」駅②番出口より東へ300m(徒歩約7分)

■市バス・名鉄バスでお越しの場合

■栄から <名鉄・基幹バス> オアシス21 ③番のりば(引山行)「汁谷」下車 徒歩約1分

■名古屋駅から <市バス> 名古屋駅バスターミナル ⑦番のりば(茶屋ヶ坂行)「茶屋ヶ坂」下車 徒歩約9分

■駐車場 100台

無料送迎車

■運行日

月~金(土曜・日曜・祝祭日・12月29日~1月3日を除く)

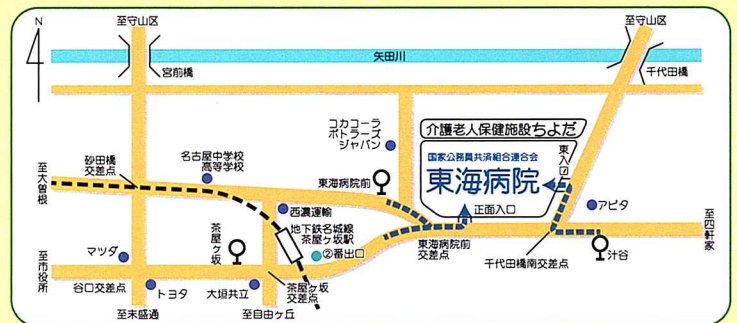
■乗降場所

■地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅循環送迎バス:

■病院発 → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅ロータリー → 病院

■名鉄瀬戸線小幡駅循環送迎バス:

■病院発 → 名鉄瀬戸線小幡駅ロータリー付近 → 病院



■名古屋駅方面から

出来町通りを瀬戸方面へ直進→

東海病院前の交差点(三叉路)を通過しすく左折→

東海病院正面入口から入りください。

■瀬戸・引山方面から

瀬戸線(国道363号線、通称・基幹/スレーン・出来町通)を

名古屋方面へ→千代田橋南交差点を右折→

北進50Mの東入口から入りください。

